

宮崎大学医学部社会学講座公衆衛生分野の研究に関する公示
{宮崎大学医学部社会学講座公衆衛生分野では以下の研究を行っています}

課題名：消化器系ガン関連遺伝子の解析と血液微量元素の評価

1.研究の背景・目的

生活習慣病であるガンの発生には生活習慣以外に遺伝子が関与していることがわかっています。遺伝子には遺伝子多型という、個人によって異なる遺伝子型（遺伝子多型）が存在し、ある種の遺伝子多型の遺伝子型により発癌リスクが異なることがわかっています。宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野大学では、これまで遺伝子多型と各種ガンの関係を研究しており、これまで多くの論文を発表し、発ガンに関与する遺伝子多型について知見を蓄積してきました。発ガンに関与する遺伝子多型はたくさんあり、すべて研究されている訳ではないことから、本研究では“2.研究対象者”の資料及び試料を使用し、“3.研究実施方法の概要”にお示ししました遺伝子多型について研究する予定ですので、その内容を開示いたします。

なお本研究は予防医学分野における新たな知見を得ることを目的とする学術研究活動として実施されるものです。

2.研究対象

対象者は2005年12月から2008年11月に宮崎大学医学部附属病院第一外科に入院し、課題名「消化器系ガン関連遺伝子の解析と血液微量元素の評価」に同意された方です。なおすでに資料および試料の収集は終わっており、資料および試料からは個人情報削除していますので個人情報が漏洩する事はありません。今後新たな資料および試料の収集も行いません。収集された資料および試料の内、その他の研究に使用同意を得たものは宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野に保存されています。

3.研究実施方法の概要

1)資料及び試料

対象者は2005年12月から2008年11月に宮崎大学医学部附属病院第一外科に入院し、課題名「消化器系ガン関連遺伝子の解析と血液微量元素の評価」に同意された方の資料および試料の内、その他の研究に使用同意を得た資料および試料です

2)研究内容

各種ガン関連遺伝子と消化器系ガンとの関係を解析する予定です。解析対象遺伝子は化器系ガン発生に関与する可能性のある遺伝子 (P53, CCND1, CXCL1・2, XPC, TAP(transporter associated with antigen processing gene)、時計遺伝子、細胞周期関連遺伝子 (PD-1、PD-L1、PD-L2、CTLA4、CD28、OX40、P21、P27、CXCL12、P73) とします

4.研究実施体制

本研究は以下の体制で実施します。

実施責任者・主任研究者

宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野 黒田嘉紀

分担研究者

宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野 日野浦拓之
KHINE ZIN AUNG
SA TIN MYO HLAING
PUTRI DAMAYANTI

5.連絡先

宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野 黒田嘉紀
TEL 0985-85-0874

6.研究実施場所

宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野

7.研究実施期間

審査承認以後～2024年3月31日

8.個人の人権の擁護に関して

1)研究等の対象となる個人の人権の擁護

本研究は「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」を遵守して実施します。

2)個人情報保護の体制

個人情報を削除した資料および試料ため、個人情報の漏洩は起こらないと考えています。

個人情報管理者：宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野 黒田嘉紀

9.途中辞退時の方法とその場合の資料及び試料の取り扱いについて

資料および試料から個人情報が削除され、個人を特定できないことから、途中辞退はできません。

10.予想される対象者への利益および不利益、偶発的所見の対応

直接的利益、および不利益は想定していません。また個人を特定できないことから、研究で明らかになった個人の結果は開示いたしません。

11.被験者の費用負担

対象者の費用負担はありません

12.研究資金および利益相反

本研究は当該法人運営費で賄うため、開示すべき利益相反事項はありません。

13.結果の使用方法

この調査で得られた結果は学会発表や論文等に使用します。